

地域密着型サービス事業者の公募について

小規模多機能型居宅介護および認知症対応型共同生活介護について、令和4年度の公募結果や既存施設の利用状況を踏まえ令和5年度の公募について以下のとおりとします。

1 小規模多機能型居宅介護および認知症対応型共同生活介護の再公募の結果について

(1) 公募期間 令和4年 6月21日から令和4年10月28日まで

令和4年10月29日から令和5年 2月 8日まで（再公募）

(2) 応募条件等

ア 整備方針 小規模多機能型居宅介護と認知症対応型共同生活介護を合築で公募

イ 整備圏域 速野学区または小津学区

(3) 応募件数 0件

(4) 検証

ア 公募受付期間と新型コロナウイルス感染症の感染拡大が重なり、事業者が感染拡大を防ぐための事業運営に専念しなければならない状況であったこと。

イ 昨今の社会情勢により建築資材が高騰するなど、建築資材等の確保が困難なこと。

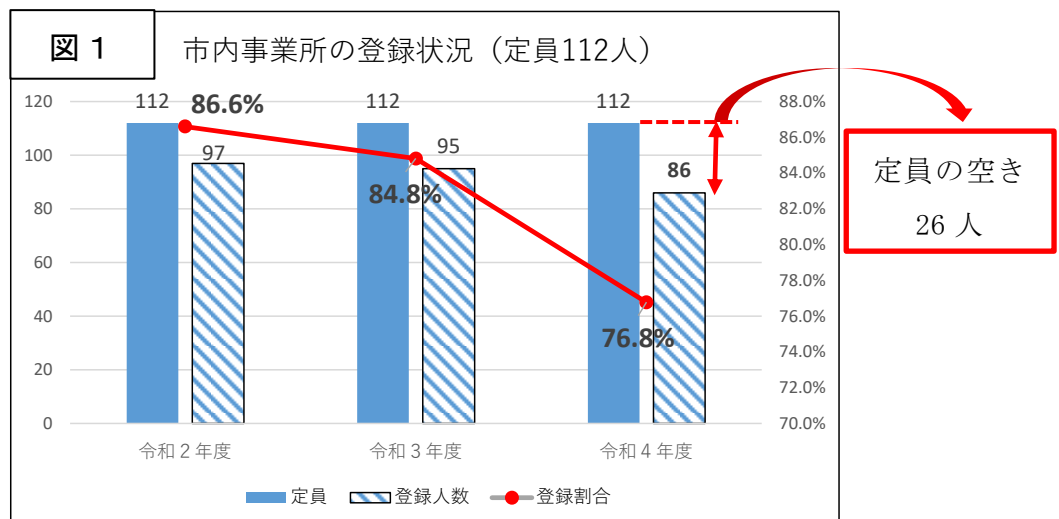
ウ 物価高騰に伴う運営資金調達が困難な状況も重なり、先行きが見通せない状況であること。

2 現在の既存事業所の登録・待機状況について

(1) 小規模多機能型居宅介護

令和5年2月時点の既存事業所の定員に対する登録率は、平均で76.8%となっており、採算が取りづらく事業所運営は大変厳しい状況となっている。

主な要因は、近隣市に新たな特別養護老人ホームが相次いで開所されたことや病院への入院などが挙げられる。



※各事業所の運営推進会議資料（2月時点）より

【表 1】近年の近隣市における特別養護老人ホーム整備状況（参考）

施設名	定員（人）	所在市	事業開始年月日
四季の郷	90	近江八幡市	R4. 9/1
あすは	90	大津市瀬田	R4. 3/1
はなえみ	80	栗東市	R3. 4/1
野洲篠原すみれ園	100	野洲市	R3. 3/1
茜の郷	80	草津市	R3. 1/1

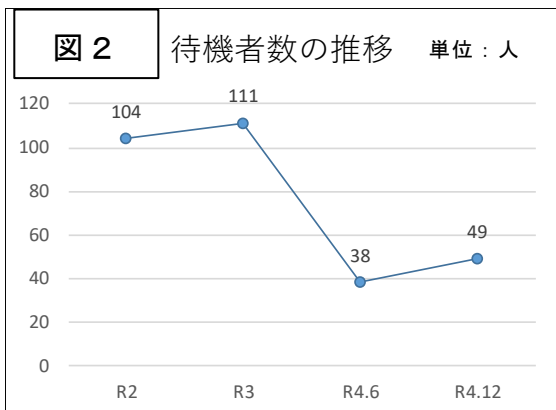
【表 2】本市の第 8 期介護保険事業計画中の整備状況

サービス種別	施設名	定員（人）	事業開始(変更)年月日	備考
小規模多機能型 居宅介護	らいふステーション憩い (NPO ゆうらいふ)	29	R5. 1. 1	定員は登録 定員
介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	特別養護老人ホームゆいの里 (社福) 慈恵会)	90	R5. 7. 1	改築 (+30 人)
	サクラベル守山 (社福) あいの土山福祉会)	80	R5. 11 月 開所予定	

(2) 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

グループホームの入居者および待機者は、毎年度 6 月に市内事業所に照会して確認しているなか、令和 4 年 6 月調査時に大きく減少していたため、同年 12 月に追加調査を行ったところ、待機者数はやや増えたものの、令和 3 年度までの待機者数の半数程度となっている。なお、待機者数は、各事業所への照会により確認しているため重複の可能性があり、待機者の実数はさらに少ない可能性がある。

待機者の待機理由について、各事業所への問い合わせの結果、希望している施設が満床のため入居に至っていないケースや、将来を見越して入居申し込みしているものの現在は在宅介護を継続希望しているケースなど利用者の都合と考えられるケースが多数を占めている。



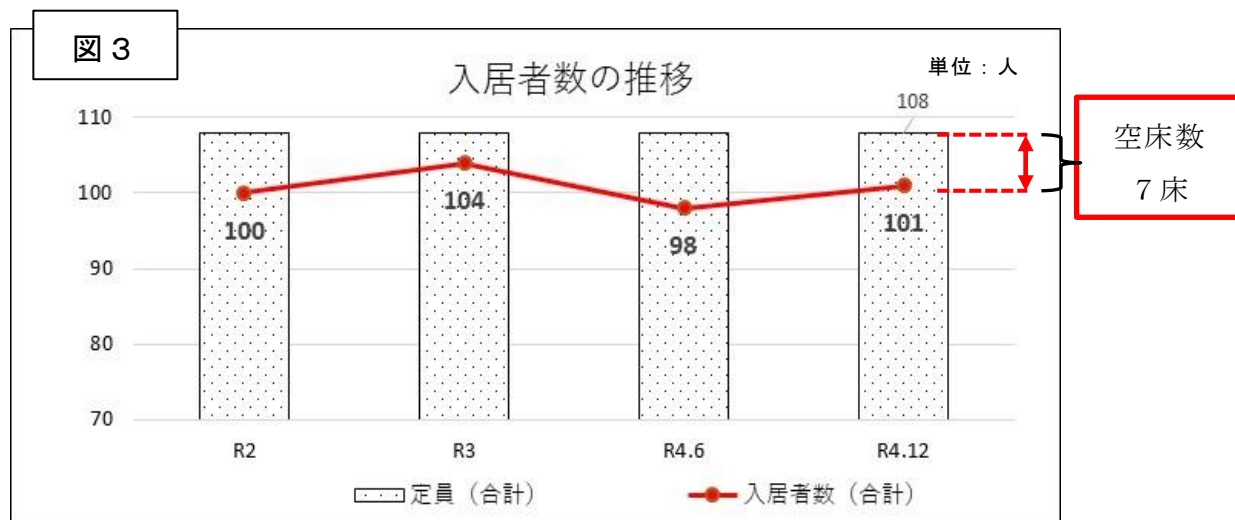
【表 3】グループホーム待機者の待機理由

	待機理由	人数
A	希望している施設に空きが出ればすぐ入居したいが、満床となっているため	15
B	将来を見越して入居申し込みをしているが、現在は在宅で対応しているため	26
C	入院中のため	3
D	その他	5

※待機者数は、重複の可能性あり

また、既存施設の入居者状況について、令和4年度に入り空床数が増えており12月時点で7名の定員割れとなっており、全体ではサービス利用が可能な状況となっている。

待機者数減少の主な要因は、小規模多機能型居宅介護と同様に特別養護老人ホームへの入所や病院への入院などが挙げられる。



3 検証

- (1) 既存の小規模多機能型居宅介護およびグループホームには、空きが生じていること。
- (2) グループホームの待機理由の中には、利用者の都合を理由とするケースが多くあること。
- (3) グループホームの現利用者の中には、特別養護老人ホームの入所希望者もあることから、市内特別養護老人ホーム開所に伴うグループホームの空き情報を確認する必要があること。

4 令和5年度の方向性

既存施設に対し実施する待機状況等の調査結果や、今年度開所予定の施設への入所申込状況等を見極め、第9期計画の策定と並行して検討してまいります。